

【ワークシート: DP・CPの対応関係】

社会学 学士教育プログラム (マスコミコース)

学習教育目標【A】について

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1)学習教育目標【A】
人間の行動、生き方、生活問題の発生過程及びその解決方法などの社会生活の諸側面を理論的・実証的に捉えられる能力を身につける。

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2)学習教育目標【A】を達成するための取組
<授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名>
1年次から4年次までの間で、共通教育科目(人文社会)の「マスコミと社会」を受講することが望ましい。「マスコミと社会」と「マスコミ原論I、II」を受講することにより、基礎的な履修事項を相互補完し学ぶことでマスコミに関する知識を蓄積し理解を深める。1年次科目「マスコミ原論I」と「マスコミ原論II」では、マス・メディアの概観・社会的機能と影響を学び、「社会学原論I」では、社会意識、集団、文化、社会変動に関する基礎的知識・理解を深める。また、「社会福祉原論I」では、社会福祉の概念・構造・歴史について基礎知識を固める。1年次で以上の科目群を履修することで、マスコミュニケーション学、社会学、社会福祉学の学際的な観点から社会生活の諸側面を理論的・実証的に捉える能力を高めていくための基盤をつくる。2年次科目の「マスコミ調査分析」では、マスコミの役割分析、世論調査及び諸問題の研究において分析力を高め、「社会調査法I」で社会調査の理論と技術を修得する。2年次科目の「マスコミ史」では、マス・メディアの歴史的発展及び機能変遷について学び、「マス・コミ特殊講義I」では、沖縄の戦後の放送史について学ぶ。「マス・コミ特殊講義II」においてはメディアの現場からのジャーナリズム論として現役のジャーナリストから取材・編集・報道についての知見を深める。3年次科目の「地域メディア論」では、明治～昭和期の沖縄の言論メディアについての考察を深める。この一連のマスコミの歴史に関連する講義において、マスメディアの発展過程を歴史的・社会的背景事情に鑑みて検証しその社会的役割や影響を考察する過程で、人間の行動、問題の発生過程、及びその解決方法など現代社会の諸側面を理論的・実証的に捉える能力や問題解決能力が培われていく。そして、2年次科目の「マスコミュニケーション理論」でマスコミの社会的影響に関する諸理論を学習する際に、これらの論理的思考能力と問題解決能力が発揮され、効果的な講義が展開されるとともに、実社会でもこれらの知識を応用する力が育まれる。3年次科目の「映像論」では、ドキュメンタリーやフィクションの映像分析を通して、社会生活の諸側面を理解し、人間の行動や生き方についての考察を深め、生活問題の解決方法を模索する力を育む。

(3)学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分 (選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次 (選択式)	学期 (選択式)	授業形態 (選択式)
必修(専門)	マスコミ111	マス・コミ原論I	2	1年次	前期	講義
必修(専門)	マスコミ112	マス・コミ原論II	2	1年次	後期	講義
選択必修(専門)	社会101	社会学原論I	2	1年次	前期	講義
選択必修(専門)	福祉201	社会福祉原論I	2	1年次	前期	講義
選択必修(専門)	社会201	社会調査法I	2	2年次	前期	講義
選択必修(専門)	マスコミ210	マス・コミ史	2	2年次	後期	講義
選択必修(専門)	マスコミ200	マスコミ調査分析	2	2年次	前期	講義
選択必修(専門)	マスコミ241	マスコミ特殊講義I	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	マスコミ242	マスコミ特殊講義II	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	マスコミ280	地域メディア論	2	3年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	マスコミ220	マスコミュニケーション理論	2	2年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	マスコミ290	映像論	2	3~4年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	社13	マスコミと社会	2	1~4年次	前期/後期	講義

初年次
↓
高年次

【ワークシート:DP・CPの対応関係】

社会学 学士教育プログラム (社会学コース)

学習教育目標【A】について

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1)学習教育目標【A】

人間の行動、生き方、生活問題の発生過程及びその解決方法などの社会生活の諸側面を社会構造と主体との関係性及び意味づけの観点から、理論的・実証的に捉える能力を育成する(理論性)(実証性)



カリキュラム・ポリシー(CP)

(2)学習教育目標【A】を達成するための取組
 <授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名>

社会学の専門的な学修に先立ち、共通教育科目社会系科目「現代社会のしくみ」をなるべく低年次で履修することによって、社会生活の成り立ちについて、複眼的な視点を養っておくことが望ましい。

1年次で、「人間科学科基礎演習」で、図書館の利用法、コミュニケーション・スキル、インタビューの方法、資料整理の方法、レポートの書き方、発表の方法などの、大学で学ぶための基礎的知識や技術を獲得する。そして、人間の行動、生き方、生活問題の発生過程などの社会生活の諸側面を社会構造と主体との関係性及び意味づけの観点から、「社会学原論」Ⅰ・Ⅱにおいて理論的に学び、「社会調査法」Ⅰ・Ⅱでそれを実証的に明らかにするための方法について講義形式で学ぶ。

2年次で、「社会学実習」をつうじて、実際の調査・フィールドワークを行った上でデータ分析を行い調査報告書を作成するという実習を行うことで、人間主体と社会構造を実証的に把握することを学ぶ。

3年次では、各自の卒業論文に向けた準備を開始する。「社会学演習」Ⅰ・Ⅱを履修し、ゼミ論・卒論に向けての研究への取り組み方、研究発表の方法を学ぶ。さらに、4年次において、「社会学演習」Ⅲ・Ⅳを履修し、卒業論文に向けてのテーマの設定、リサーチの技法などについて学ぶとともに、文献の読み込みやフィールドワークを行う。そして、卒論を執筆する。

こうした卒業論文の執筆を通して、人間主体と社会構造の相互関係を理論的・実証的分析する社会的な能力を学修する。

(3)学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分 (選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次 (選択式)	学期 (選択式)	授業形態 (選択式)
必修(専門)	人間101	人間科学科基礎演習	2	1年次	前期/後期	演習
選択必修(専門)	社会101	社会学原論Ⅰ	2	1年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	社会201	社会調査法Ⅰ	2	1年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	福祉201	社会福祉原論Ⅰ	2	1年次	前期	講義
選択必修(専門)	マスコミ111	マス・コミ原論Ⅰ	2	1年次	前期	講義
自由選択(専門)	社会202	社会調査法Ⅱ	2	1年次	前期/後期	講義
必修(専門)	社会102	社会学原論Ⅱ	2	1年次	前期/後期	講義
必修(専門)	社会103	国際比較社会学Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	社会104	国際比較社会学Ⅱ	2	2年次	前期/後期	講義
必修(専門)	社会111	社会学実習Ⅰ	2	2年次	前期/後期	実習
必修(専門)	社会112	社会学実習Ⅱ	2	2年次	前期/後期	実習
必修(専門)	社会121	社会学演習Ⅰ	1	3年次	前期/後期	演習
必修(専門)	社会122	社会学演習Ⅱ	1	3年次	前期/後期	演習
必修(専門)	社会123	社会学演習Ⅲ	1	4年次	前期/後期	演習
必修(専門)	社会124	社会学演習Ⅳ	1	4年次	前期/後期	演習
必修(専門)	社会500	卒業論文	4	4年次	通年	演習

初年次

高年次

【ワークシート: DP・CPの対応関係】

社会学 学士教育プログラム (社会学コース)

学習教育目標【C】について

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【C】

人間集団としての社会の発展や生活問題・福祉問題の解決に貢献し得る能力を育成する(問題解決力)



カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【C】を達成するための取組
 <授業の構成(教育内容・方法)、授業間の関連性、科目名>

社会学の専門的な学修に先立ち、共通教育科目社会系科目「現代社会のしくみ」をなるべく低年次で履修することによって、社会の諸問題に対する複眼的な視点を養っておくことが望ましい。

1年次で、「人間科学科基礎演習」で、図書館の利用法、コミュニケーション・スキル、インタビューの方法、資料整理の方法、レポートの書き方、発表の方法などの、大学で学ぶための基礎的知識や技術を獲得する。そして、「社会学原論」Ⅰ・Ⅱで社会学の基本的な問題設定とその解決法を講義形式で、「社会調査法」Ⅰ・Ⅱでその実証的な方法について講義形式で学ぶ。

2年次で、「社会学実習」をつうじて、実際の調査・フィールドワークを行った上でデータ分析を行い調査報告書を作成するという実習を通して、社会発展や生活問題に関する問題設定と解決方法を実践的に学修する。

3年次では、各自の卒業論文に向けた準備を開始する。「社会学演習」Ⅰ・Ⅱを履修し、ゼミ論・卒論に向けての研究への取り組み方、研究発表の方法を学ぶ。

4年次において、「社会学演習」Ⅲ・Ⅳを履修し、卒業論文に向けてのテーマの設定、リサーチの技法などについて学ぶとともに、文献の読み込みやフィールドワークを行う。そして、卒論を執筆する。

こうした卒業論文の執筆を通して、社会問題を社会的に解決する力を学修する。

(3) 学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
必修(専門)	人間101	人間科学科基礎演習	2	1年次	前期/後期	演習
選択必修(専門)	社会101	社会学原論Ⅰ	2	1年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	社会201	社会調査法Ⅰ	2	1年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	福祉201	社会福祉原論Ⅰ	2	1年次	前期	講義
選択必修(専門)	マスコミ111	マス・コミ原論Ⅰ	2	1年次	前期	講義
自由選択(専門)	社会202	社会調査法Ⅱ	2	1年次	前期/後期	講義
必修(専門)	社会102	社会学原論Ⅱ	2	1年次	前期/後期	講義
必修(専門)	社会103	国際比較社会学Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	社会104	国際比較社会学Ⅱ	2	2年次	前期/後期	講義
必修(専門)	社会111	社会学実習Ⅰ	2	2年次	前期/後期	実習
必修(専門)	社会112	社会学実習Ⅱ	2	2年次	前期/後期	実習
必修(専門)	社会121	社会学演習Ⅰ	1	3年次	前期/後期	演習
必修(専門)	社会122	社会学演習Ⅱ	1	3年次	前期/後期	演習
必修(専門)	社会123	社会学演習Ⅲ	1	4年次	前期/後期	演習
必修(専門)	社会124	社会学演習Ⅳ	1	4年次	前期/後期	演習
必修(専門)	社会500	卒業論文	4	4年次	通年	演習

合計単位数 30

初年次
↓
高年次

【ワークシート:DP・CPの対応関係】

学習教育目標【A】について

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1)学習教育目標【A】

人間の行動、生き方、生活問題の発生過程及びその解決方法などの社会生活の諸側面を理論的・実証的に捉えられる能力を身につける。

社会学 学士教育プログラム (社会福祉学・地域福祉学コース)

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2)学習教育目標【A】を達成するための取組

<授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名>

1年次科目「社会福祉原論I」と「社会福祉原論II」では、社会福祉の概念・構造・歴史について基礎知識を固め、「社会学原論I」では、社会意識、集団、文化、社会変動に関する基礎的知識・理解を深める。また、「マス・コミ原論I」では、マス・メディアの概観・社会的機能と影響等に関する基礎知識を固める。1年次で以上の科目群を履修することで、社会福祉学、社会学、マスコミュニケーション学の学際的な観点から社会生活の諸側面を理論的・実証的に捉える能力を高めていくための基盤をつくる。
2年次科目の「社会調査法I」で社会調査の理論と技術の修得により実証的に捉える能力の基礎を養う。
また、生活問題発生の主たる要因である貧困について、「社会保障論」では現代社会における貧困問題への予防対策をふくめた社会保障一般に関する基礎的知識を、「公的扶助論」では、具体的な貧困状況および生活保護を中心とする社会的対策について学ぶ。
3年次科目の「医学概論」では生活問題発生の主たる要因の一つである疾病に関して、疾病の基礎知識等を学ぶ。この一連の生活問題における主要因に関連する講義を通して、人間の行動、問題の発生過程、及びその解決方法など現代社会の諸側面を理論的・実証的に捉える能力や問題解決能力が培われていく。
加えて、2年次後期より提供される「相談援助演習I」「相談援助実習指導I」、引き続き3年次科目の「相談援助演習I」を通して、講義を通して学んだ知識を、自らも実際の現場に身を置き、実社会の現実と付き合わせて理解する体験を持つことで、実社会でもこれらの知識を応用する力が育まれる。
なお、共通教育科目(「現代社会のしくみ」)については、社会生活の諸側面について理論的・実証的に捉えるための視点や基礎的知識づくりの準備となる講義と位置付けられるため、1-2年次の段階での履修が望まれる。

(3)学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
選択必修(専門)	福祉201	社会福祉原論I	2	1年次	前期	講義
必修(専門)	福祉202	社会福祉原論II	2	1年次	後期	講義
選択必修(専門)	社会101	社会学原論I	2	1年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	マスコミ111	マス・コミ原論I	2	1年次	前期	講義
自由選択(専門)	福祉304	公的扶助論	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	福祉408	社会保障論	4	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	社会201	社会調査法I	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	福祉253	相談援助演習I	2	2年次	後期	演習
自由選択(専門)	福祉368	相談援助実習指導I	2	2年次	後期	演習
自由選択(専門)	福祉367	医学概論	2	3年次	後期	講義
必修(専門)	福祉361	相談援助実習I	2	3年次	前期	実習

【ワークシート:DP・CPの対応関係】

社会学 学士教育プログラム (社会福祉学・地域福祉学コース)

学習教育目標【C】について

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1)学習教育目標【C】

市民社会の発展や生活問題・福祉問題の解決に貢献できる能力を身につける



カリキュラム・ポリシー(CP)

(2)学習教育目標【C】を達成するための取組
 <授業の構成(教育内容・方法)、授業間の関連性、科目名>

1年次に履修する「社会福祉原論Ⅰ」「社会福祉原論Ⅱ」を通して、市民社会の発展や社会福祉の諸問題についての基礎的な知識を身に付ける。
 続く2年次以降の「ソーシャルケースワークⅠ」「ソーシャルケースワークⅡ」「ソーシャルグループワーク」、さらに3年次の「相談援助演習Ⅲ」では、1年次からの基礎知識を基盤に、社会福祉援助技術の基礎的理解と技術の習得を行い、生活問題・福祉問題解決に貢献できる具体的な能力や技術を養う。
 「児童福祉論Ⅰ」「児童福祉論Ⅱ」「障害者福祉論」「高齢者福祉論」等の科目では、対象者別の福祉課題やその解決方法について理解を深め、市民社会における生活問題や福祉問題に対する根源的な理解のための基礎を形成する。
 また、「人体構造及び日常生活行動に関する理解」「加齢と障害に関する理解」の講義履修を通じて、生活問題や福祉問題を有する対象者の生活や加齢・障害・疾病等についての理解を深める。その上で、「介護技術論」「介護概論」を通して、介護の現場で実際に必要となる技術や知識を身に付けることによって、生活課題・福祉問題の直接的な解決能力を習得する。
 2・3年次の「社会福祉運営管理論」並びに「福祉行財政と福祉計画」では、生活問題・福祉課題の構造的な理解と、制度に基づく社会福祉組織の運営管理を行うための基礎知識を身に付ける。これにより、直接援助による問題解決だけでなく、組織運営や行財政管理による問題解決能力についても育まれることが期待される。
 さらに、「就労支援サービス論」「保健医療概論」「権利擁護・成年後見・更生保護」の講義を3年次に履修することで、障害者や高齢者などの就労ニーズや保健・医療ニーズへの理解を深め、対象者の権利を守り、課題解決に尽力するための基礎的な能力を養う。また対象者の権利擁護、成年後見、更生保護、をめぐる課題について、現場実践の経験もある各分野の専門家の講師による講義を履修することで、課題に対する基礎的理解と問題解決のための技術や知識を身に付けることを目指す。
 4年次科目の「卒業論文」の卒業論文作成で、学生は、1年次から4年次までに培ってきた自律学習能力、論理的思考能力、複眼的分析能力、そして問題解決力を発揮し、市民社会の発展や生活問題・福祉問題の解決に貢献できる能力を身につける。

(3)学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分 (選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次 (選択式)	学期 (選択式)	授業形態 (選択式)
選択必修(専門)	福祉201	社会福祉原論Ⅰ	2	1年次	前期	講義
必修(専門)	福祉202	社会福祉原論Ⅱ	2	1年次	後期	講義
必修(専門)	福祉204	ソーシャルケースワークⅠ	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	福祉301	ソーシャルケースワークⅡ	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	福祉206	児童福祉論Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	福祉208	児童福祉論Ⅱ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	福祉255	障害者福祉論	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	福祉207	ソーシャルグループワーク	2	2~3年次	後期	講義
自由選択(専門)	福祉306	介護概論	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	福祉320	介護技術	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	福祉257	社会福祉運営管理論	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	福祉260	人体構造及び日常生活行動に関する理解	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	福祉261	加齢と障害に関する理解	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	福祉357	高齢者福祉論	2	3年次	前期	講義
自由選択(専門)	福祉355	就労支援サービス論	2	3年次	前期	講義
自由選択(専門)	福祉356	福祉行財政と福祉計画	2	3年次	後期	講義
自由選択(専門)	福祉389	保健医療概論	2	3年次	後期	講義
自由選択(専門)	福祉390	権利擁護・成年後見・更生保護	2	3年次	後期	講義
必修(専門)	福祉501	卒業論文	4	4年次	通年	演習

初年次

高年次